



ボランティア通信「きぼう」

2023年1月号

発行：NPO法人在宅ホスピス
ボランティアきぼう

山梨県北杜市高根町長澤 2467-11

<https://www.volunteer-kibou.org>
info@volunteer-kibou.org

「聞き書き」活動が本格的に始まりました

患者さんやご高齢の方の話をお聞きし、冊子にまとめてお渡しするという「聞き書き」は、ボランティアが語り手の方に寄り添い、お互いの心が触れ合う機会を作る場をとってよい手法です。東京で行っていた「聞き書き」活動を北杜でも始めることを目指していましたが、本格的に動き始めました。

聞き書き勉強会が開催されました

2022年9月16日、北杜市のいすみ活性化施設多目的ホールで、聞き書きの専門家である小田豊二先生をお招きして聞き書き勉強会を開催しました。21名が参加し熱心に講義を聞きました。イラストで分かりやすく聞き書き手法を説明された後、語り手の話した言葉を話し言葉で書く「聞き書き体」の練習も行われ、小田先生は参加者一人ひとりの作品を丁寧に添削してくださいました。全員が及第点以上の超花丸をいただき、実践に向けて大いに自信がつけました。

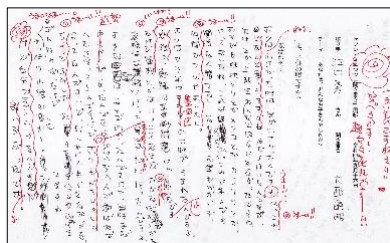
勉強会終了後、小田先生を囲んで懇親会が行われました。小田先生からいろんなアドバイスをいただき、聞き書きを学んだボランティアは早く実践する日がくるのを待ちわびているようです。



聞き書き勉強会の模様



小田先生(左)に超花丸をもらった添削事例



懇親会で小田先生と記念撮影するボランティア

聞き書き第1弾が聞き取りを開始しました

勉強会后、数人のボランティアが聞き書き活動を希望した他、外部からの受講者から「実際に聞き書きをやってみたい」との希望があり、ボランティア養成講座を受講して、ボランティア登録していただくことになりました。

北杜での聞き書き第1弾として、お話をしてくださる語り手の方がいらしたことから、11月から聞き取りを始めました。テープ起こし、製本と進んで、聞き書き本が出来上がって、語り手の方に届けられる日が近づいています。さらに第2弾、第3弾の聞き書きが続く予定です。北杜での聞き書き活動は始動しました。2023年は本格的な活動へと発展していくことが期待されます。

ボランティアのつどい

NPO法人きぼうの北杜のボランティアは月1回「ボランティアのつどい」で集まり、活動の報告や計画の他、勉強会やボランティアが交代でお話する時間を設けています。ボランティアの皆が集まって、きぼうでの活動やボランティアのお互いの理解を深める貴重な機会です。

つながるサロン・クリスマス会

NPO 法人きぼうでは、お1人暮らしの方や家で療養している患者さん等をお招きして「つながるサロン」を月に1回開催しています。2022年12月16日はクリスマス会として、4名のお客様をお迎えして開催されました。ボランティアが作った料理を食べながら、今年1年を振り返って良かったことを一人ひとり話しました。フルートの伴奏でのお客様の独唱やボランティアによるリコーダーとコカリナの合奏、川越厚先生のチェロ演奏などでクリスマス会は大いに盛り上がりました。



つながるサロン・クリスマス会



フルートの伴奏で歌うお客様



リコーダーとコカリナの合奏



チェロを弾く川越厚先生

このクリスマス会を開催するにあたって、ボランティアの影の活躍を紹介します。楽しく美味しい食事にするために、献立を考え食材を調達して当日北杜のボランティアが料理を作ります(写真1)。そしてテーブルに並んだ料理(写真2)を食べながらお話に花を咲かせます。

食事のあとには、東京のボランティアが作ったデザートが出てきます(写真3)。料理でお腹が一杯でも食欲のない方でもこのケーキは食べられるから不思議です。

クリスマス会も終盤になって、お客様に東京の手作りボランティアが作った小物入れをプレゼントしました(写真4)。



(写真1) ボランティアが料理をつくる様子



(写真2) 出来上がった料理



(写真3) ラズベリーケーキ



(写真4) クリスマスプレゼントの小物入れ

編集後記

NPO 法人きぼうは、移転から約1年半がたちました。ボランティア養成講座を3回開催して北杜でのボランティアが増えました◆ボランティア会議や事務局会議を毎月開催して、活動計画を練ったり開催後の振り返りをしたりして、着実に前進しています◆特にお伝えしたいのが聞き書き活動です。東京での聞き書き活動ではボランティア全体が行動するまでにはいきませんでした◆北杜では是非この勢いをより成長させていきたいと思ひます (江口)